

業務状況説明書

(令和2年10月1日から令和3年3月31日まで)

富士見市水道事業

1 令和元年度下半期の状況

(1) 事業の概況

ア 営業

令和2年度末における給水人口は、11,581人で、前年度末に比べ297人の増加となっています。

近年減少傾向にあった年間配水量は、コロナ禍の影響をうけ生活様式の変化に伴い11,562,140m³で、前年度に比べ375,610m³の増加となりました。

区 分 \ 年 度		令和2年度 (年度末)	令和元年度 (年度末)	比 較	
				増減	比率 (%)
給水人口 (人)		111,581	111,284	297	100.27
配 水 量	総 量 (m ³)	11,562,140	11,186,530	375,610	103.36
	1日最大 (m ³)	35,370	33,800	1,570	104.64
	1日平均 (m ³)	27,781	29,226	△1,445	95.06

イ 建設改良事業費

老朽管更新事業については、水谷地区の送水管布設替 (R1446 外) 工事 (第2工区)、山室地区の給水管布設替工事 (R1406 外) 工事等を実施いたしました。

また、送水管布設替 (R5114) 工事については、工程に遅れが生じたため令和3年度に繰り越しをいたしました。

配水管改良事業については、大字上畑地区の配水管布設 (R170) 工事等を実施いたしました。また配・給水管布設 (R523 外) 工事、配水管布設 (R2965 外) 工事については、工程に遅れが生じたため、翌年度に繰り越しをいたしました。

(2) 経理の状況（税込）

下半期における経理の状況は、次のとおりです。

ア 収益的収入及び支出

（単位：千円）

科目	予算現額	執行額			執行率 (%)	
		上半期	下半期	計		
収入	事業収益	1,864,876	831,133	946,891	1,778,024	95.34
	営業収益	1,793,982	828,718	869,153	1,697,871	94.64
	営業外収益	70,394	2,146	77,738	79,884	99.18
	特別利益	500	269	0	269	113.48
支出	事業費	1,734,753	448,948	1,170,044	1,618,992	93.27
	営業費用	1,673,014	435,448	1,122,998	1,558,446	93.09
	営業外費用	60,539	13,493	47,046	60,539	100.00
	特別損失	200	7	0	7	3.5
	予備費	1,000	0	0	0	—

イ 資本的収入及び支出

（単位：千円）

科目	予算現額	執行額			執行率 (%)	
		上半期	下半期	計		
収入	資本的収入	7,550	0	1,635	1,635	21.64
	他会計負担金	4,800	0	1,635	1,635	34.06
	工事負担金	2,750	0	0	0	—
支出	資本的支出	770,808	244,024	218,865	462,889	60.05
	建設改良費	563,672	141,499	114,255	255,754	59.08
	企業債償還金	207,136	102,525	104,610	207,135	100.00

2 令和3年度予算の概要

(1) 予算編成概要

水道事業を取り巻く環境は、人口減社会の到来や利用者の生活様式の多様化、節水意識の定着による節水機器の普及等により、有収水量・給水収益ともに減少の傾向にあるが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策等として外出自粛やリモートワーク等の活用による在宅勤務の増加に伴い、生活用水量（家庭内で使用する水量、手洗い・うがい）が一時的な増加傾向にあるものと考えられます。その一方で、水道水の安定供給を維持するために、水道施設の改良工事等に多額の費用が必要となっていく状況にあります。

令和3年度の水道事業予算については、令和2年度の実績を踏まえた水道料金の微増を見込んでいます。しかしその一方で、建設改良費は経年劣化に伴う水道施設の更新等、今後も多額の経費が必要となることから施設の計画的な整備と維持管理に努め、安心・安全で安定的な水道水の供給を可能とするための事業を中心とした予算編成に努めました。

(2) 業務の予定量

年度 区分		令和3年度	令和2年度	増減
		給水戸数（戸）	53,740	52,550
配 水 量	総量（ m^3 ）	11,419,487	11,293,000	126,487
	1日平均（ m^3 ）	31,286	30,940	346

(3) 予算規模

第3条予算（収益的収入及び支出）の収入は、前年度比0.7%増の18億7,814万2千円、支出は、前年度比1.4%減の16億9,580万2千円で、収支差引では、1億8,234万円の黒字となっています。

第4条予算（資本的収入及び支出）の収入は、前年度比10.6%増の835万円、支出は、前年度比6.0%減の6億149万円で、収支差引では、5億9,314万円の赤字が見込まれていますが、赤字分については損益勘定留保資金等で補填することとしています。

(4) 収入支出明細書

収益的収入及び支出

収入 (単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
水道事業収益			1,878,142	
	営業収益		1,808,586	
		給 水 収 益	1,587,496	水道料金の予定額を計上
		受 託 工 事 収 益	21,339	受託工事収益の予定額を計上
		補 償 金	1,020	修繕工事による補償金の予定額を計上
		加 入 金	145,365	加入申込金の予定額を計上
		そ の 他 営 業 収 益	53,366	下水道使用料徴収受託料等を計上
	営業外収益		69,056	
		受 取 利 息	1,365	預金利子の予定額を計上
		長 期 前 受 金 戻 入	67,067	長期前受金の戻入予定額を計上
		雑 収 益	624	その他雑収益を計上
	特別利益		500	
		過 年 度 損 益 修 正 益	500	過年度損益修正益を計上

支出 (単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
水道事業費用			1,695,802	
	営業費用		1,654,865	
		原 水 及 び 浄 水 費	884,951	浄水及び送水に必要な経費を計上
		配 水 及 び 給 水 費	150,413	配水及び給水に必要な経費を計上
		受 託 工 事 費	20,790	受託工事に必要な経費を計上
		業 務 費	132,556	検針及び収納に必要な経費を計上
		総 係 費	49,488	事務運営に必要な総括的経費を計上
		減 価 償 却 費	406,657	償却資産に対する減価償却費を計上
		資 産 減 耗 費	10,010	固定資産除却費等を計上
	営業外費用		39,737	
		支 払 利 息	17,086	企業債及び一時借入金利子を計上
		消費税及び地方消費税	21,651	消費税及び地方消費税を計上
		雑 支 出	1,000	その他雑支出を計上
	特別損失		200	
		過 年 度 損 益 修 正 損	200	過年度損益修正損を計上
	予備費		1,000	
		予 備 費	1,000	

資 本 的 収 入 及 び 支 出

収 入

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
資 本 的 収 入			8,350	
	他 会 計 負 担 金		5,600	
		他 会 計 負 担 金	5,600	一般会計からの負担金を計上
	工 事 負 担 金		2,750	
		配 水 工 事 負 担 金	2,750	開発に伴う配水工事負担金を計上

支 出

(単位：千円)

款	項	目	予 定 額	備 考
資 本 的 支 出			601,490	
	建 設 改 良 費		435,505	
		建 設 総 係 費	29,690	建設に必要な事務費を計上
		老 朽 管 更 新 事 業 費	272,020	老朽管更新に必要な工事費等を計上
		配 水 管 改 良 費	130,397	配水管布設工事費等を計上
		量 水 器 費	3,398	量水器出庫予定額を計上
	企 業 債 償 還 金		165,985	
		企 業 債 償 還 金	165,985	企業債元金の償還金を計上